

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 脳刺激装置植込術での頭皮神経ブロックとフェンタニルの影響
	●研究の対象 2022年～2023年に当院で全身麻酔を用いて脳刺激装置植込術を受けた方20名
	●研究の目的 パーキンソン病及び振戦がある方に脳刺激装置植込術を行い電気刺激により症状を緩和する方法があります。 脳刺激装置植込術での麻酔の管理は、全身麻酔→覚醒（起きている）→全身麻酔の順で麻酔を行います。覚醒後（起きている）の鎮痛の処置のために脳外科医が行う麻酔と麻酔科医が行う頭皮神経ブロックがあります。この頭皮神経ブロックに関しては麻酔科医の判断により実施されています。今回、頭皮神経ブロックを施行した場合と施行しなかった場合において、鎮痛剤（フェンタニル）の使用量にどのくらい影響があるかを検討します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2026年12月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究対象者背景：原疾患、年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、生活歴、服薬状況、ASA 分類 ・術前身体所見：身長、体重、body mass index、血圧、脈拍 ・全身麻酔の記録（術中バイタル所見）：非観血的血圧測定による収縮期血圧・拡張期血圧、経皮的動脈血酸素飽和度、心拍数、Bispectral index、Patient State Index、呼気中二酸化炭素分圧、体温、術中併用薬剤、麻酔時間、手術時間、premedication ・頭皮神経ブロック施行の有無、麻酔薬の種類、投与量、麻酔部位、 ・鎮痛剤（フェンタニル）の投与量、総投与量、投与時間 ・制吐剤使用の有無、投与量、投与期間 ・有害事象
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 山口智子</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者に対する試料・情報を提供しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 山口智子</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
《情報の開示》	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院</p> <p>部署名： 麻酔科蘇生科</p> <p>担当者： 山口智子</p> <p>TEL： 053-435-2738</p> <p>E-mail： yamaguchit@hama-med.ac.jp</p>